

設計業務名：三重大學（上浜）生物資源學部校舍（I期－2）改修設備設計業務

技 術 提 案 書 作 成 要 領

國立大學法人三重大學施設部

令和8年1月20日

技術提案書作成要領

1 総則

- (1) 技術提案書の用紙サイズは、すべてA4判縦とする。
- (2) 技術資料の「業務の実施方針（様式5）」及び「課題についての提案（様式6）」については、技術提案者名その他社章など技術提案者が特定できるものを記載することはできない。
- (3) 文字のサイズについては、原則として日本産業規格に基づく9.0ポイント以上とすること。

2 技術者名（様式4）

- (1) 技術者名（様式4）は、参加表明書に記載した総括技術者について記入すること。
- (2) 「所属」欄は、総括技術者が所属する設計事務所名を記入すること。

3 業務の実施方針（様式5）

- (1) 業務の実施方針（様式5）は、業務の実施に当たっての方針あるいは内容についての提案、大学との連携、業務に対する取組方針、技術者チームの特徴、特に重視する分野の設計上の配慮事項（提案を求める課題を除く。）、その他業務を実施するに当たって配慮することなどをA4判縦用紙1頁の範囲内で記述すること。
- (2) 業務の実施方針（様式5）には、文章を補完するための最小限の写真、イラスト 及びイメージ図並びにエスキス及びスケッチを記載又は貼付することができる。ただし、具体的な設計図、模型（模型写真を含む。）及び透視図等を記載又は貼付することはできない。

4 課題についての提案（様式6）

- (1) 課題についての提案（様式6）は、次に掲げる課題についての基本的な考え方をそれぞれA4判縦用紙1頁の範囲内で記述すること。なお記述する件数は5項目以内とする。

【課題について】

本施設は、複雑・グローバル化するフードシステムが直面する社会的問題に対応できる人材を育成すべく、専門的かつ俯瞰的知識を涵養でき、食農データサイエンスの素養を身につけたバイオDX人材を輩出する研究拠点である。

本施設を整備することで、三重県内に展開する4つのフィールド教育研究施設及び5つの地域拠点サテライトとの連携をDXによって強化し、地域共創を目指す人材と知識が集う教育研究拠点「三重フィールドサイエンス・イノベーション・パートナーシップ拠点」を形成する。これは県内全体を日本の縮

図と捉え、食料の生産、加工、流通、消費に至るフードシステムをはじめとした農林水産資源における諸問題を一元的に解決し、得られた知見を日本のみならず世界に展開するためのプラットフォームとして機能するものである。

しかしながら、研究室の細分化により特色ある研究が展開する一方で実験室が点在しているため、スペース効率の悪化を引き起こしていることで、異分野融合研究や新たなプロジェクトスペースを展開する余地がない状態となっている。

本事業は、施設全体（延べ面積 24, 780 m²）を8分割で改修する計画であり、本設計業務はその2期目にあたる。

以上のことと踏まえ、次の各項目に関する技術提案を求める。

1. 教育研究活動の継続に配慮した提案

本事業は、連続する既設建物部分に利用者がいる状態で行う長期間の改修工事であり、工事期間中も含め利用者である学生、教職員への配慮が重要である。

そのため、工事期間中に安全性を確保し、既設建物での教育研究活動が継続できる具体的な提案を求める

2. 環境負荷低減に資する施設の提案

本事業においては、経済性の観点から、施設の長期的な利用を踏まえたライフサイクルコスト（LCC）（初期コスト・運用・維持管理・更新を含む）を抑制し、かつ持続可能性の観点から、エネルギー消費の低減等、生涯二酸化炭素排出量（LCCO₂）を削減するための具体的な提案を求める。

(2) 課題についての提案（様式6）には、文章を補完するための最小限の写真、イラスト、イメージ図及びスケッチを記載又は貼付することができる。

ただし、具体的な設計図、模型写真及び透視図等を記載又は貼付することはできない。

(3) 選定された設計事務所の案を実施設計に反映するとは限らない。

5 協力設計事務所（様式7）

- (1) 協力設計事務所（様式7）は、協力設計事務所を予定している場合に記入すること。
- (2) 複数者の協力設計事務所がある場合は、別々の用紙に記入すること。
- (3) 協力事務所がない場合は、その旨を明記すること。
- (4) 「協力内容」欄は、作業内容を記入すること。
- (5) 「延従事予定技術者数」欄は、担当業務区分毎に延従事予定技術者人数を記入すること。

国立大学法人三重大学
学長 伊藤正明 殿

(提出者)

【住所】

【法人等名】

【代表者等氏名】

□】

〇〇・〇〇設計共同体

代表者 【住所】

【法人等名】

【代表者等氏名】

□】

提 出 意 向 確 認 書

設 計 業 務 名 三重大学（上浜）生物資源学部校舎（I期－2）改修設備設計業務

履 行 期 限 令和8年3月31日（火）
ただし、財政法上の定めによる承認を得た場合は、
令和8年7月31日（金）まで延長する予定である。
なお、設計図、数量書の履行期限は令和8年6月30日（火）とする。

上記の業務について、技術提案書を

・期限までに提出します。

・提出しません。

提出意向確認書の提出期限は令和8年2月9日（月）までとする。

国立大学法人三重大学
学長 伊藤正明 殿

(提出者)

【住所】
【法人等名】
【代表者等氏名】】

〇〇・〇〇設計共同体
代表者 【住所】
【法人等名】
【代表者等氏名】】

技術提案書の提出について

設計業務名 三重大学（上浜）生物資源学部校舎（I期－2）改修設備設計業務

上記業務について、以下の資料を添えて技術提案書を提出します。

1. 技術者名（技術資料・様式4）
2. 業務の実施方針（技術資料・様式5）
3. 課題についての提案（技術資料・様式6）
4. 協力設計事務所（技術資料・様式7）

※各1部提出すること。

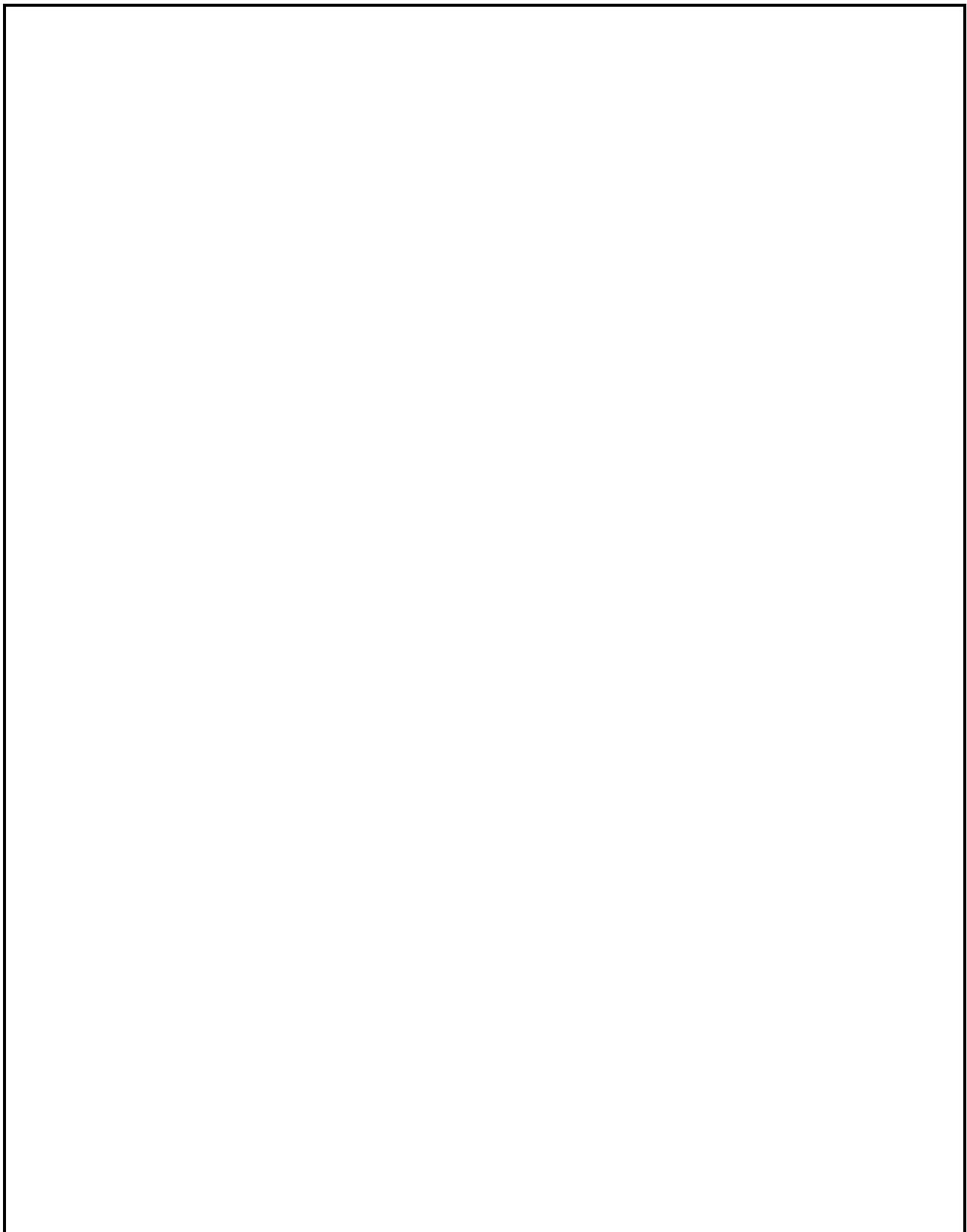
設計事務所名 :

技 術 者 名

1 総括技術者

- (1) 氏 名 :
(2) 生年月日 : 年 月 日 (才)
(3) 所 属 :

業務の実施方針



課題についての提案

課題	教育研究活動の継続に配慮した提案

※5項目以内で記述すること。

課題についての提案

課題	環境負荷低減に資する施設の提案

※5項目以内で記述すること。

協力設計事務所

法人等名	
代表者等名	
所在地	
協力内容	
延従事予定 技術者数 (人日)	